

ぎかい



2026.2.2

小国町議会だより 第167号

迎春

一期一会でおもてなし



スマホ

からもご覧
いただけます!



裏表紙に詳しくインタビュー掲載しています。御覧ください!

- 政策提言提出
- 議会議員と語る会開催

主な内容

- 政策提言 2ページ～
- 定例会・臨時会 4ページ～
- 一般質問5名登壇 6ページ～
- 議会議員と語る会 14ページ～



議会は何を提言したか

本議会は議員と語る会や町民の声を踏まえ9月29日に政策提言を行った

白い森の国を担う「人」づくり



① 少子化対策

「結婚しやすい環境」「子育てしやすくなる環境」「町民の意識を変える」等の視点から町民総がかりのライフデザインをつくりあげること。加えて独自性のある子育て政策を打ち出し実行性のある「対策」に結びつけること。

② 保小中高一貫教育

保小中高一貫教育の環境整備を推し進め、特に小国高校の魅力づくりを一層推進すること。また、部活動の地域移行を円滑に進め、包括的かつ公正な教育環境の構築を図ること。



白い森の魅力をもっと磨く「環境」づくり

1 ライフラインの強化について

広域連携に加えてデジタル技術の推進により安定的な上下水道事業の運営に努めること。克雪には、除排雪オペレーターの確保は重要であることから対策を講じ、生活道路の安全確保に努めること。

2 移住・定住施策について

環境整備が移住・定住には重要であり、「働く場所」と「住む場所」の確保に加え、SNS等を活用した情報発信の強化に努めること。



▲計画的な上水道本管入れ替えを

白い森の国を舞台とした「暮らし」づくり

1 医療・介護の充実について

小国町立病院の安定的存続は欠かせないことから、医療系サービスを安定的に提供するための人材確保に注力すること。

2 持続可能な地域づくりについて

地域の活力が急速に低下していることを踏まえ、地域づくり支援員導入事業により力を注ぐこと。また、高齢者世帯の支援や町民サービスにDXの導入を図り成果を明らかにすること。

3 観光振興について

施設全体の機能を見直し課題解決に努めること。「道の駅」を改めて重要な観光拠点として位置づけ支援策を拡充すること。

関係機関の事業展開、連携を見直すことにより力の集結を図ること。

4 ふるさと納税について

山菜等の流通経路や販売手法を再考して、商品価値と売り上げ効果を高めること。



▲観光の拠点「道の駅」

増えるクマ目撃 捕獲に対応

令和7年
12月定例会
会期
12月4日～10日

- 令和7年度 一般会計・特別会計補正予算 ……7件
- 条例案件 ……1件
- 各施設指定管理者の指定等 ……26件
- 専決処分 ……1件
- 第6次小国町総合基本構想 ……1件
- 訴えの提起について ……1件
- 発議 小国町議会議員定数適正化調査研究特別委員会の設置について ……他2件
- 一般質問は5名が登壇し町政を質した

主な内容要旨

- 町民総合体育館エレベーター改修工事費 ▼90万円
- クマ等捕獲のための予算 ▼156万円
- 病院事業会計負担金 ▼1億290万円
- 保育園、認定こども園への委託料・負担金の給付の調整 ▼2813万3千円
- 県内就職者への奨学金返還の補助 ▼15万6千円

議員発議

原案賛成3名
反対6名により否決

小国町議員定数適正化調査研究特別委員会の設置について

議案提出者 高野 健人議員 修正動議 小林 嘉議員

賛成討論

閻宮 尚江議員

人口減少や社会情勢の変化に伴い、議会もまた聖域なくその在り方を見直す時期にきており議員定数の適正化は喫緊の課題です。議員一人ひとりの責任と役割がこれまで以上に重くなるということは、議員の資質向上と緊張感のある議会運営につながると確信します。

また、議員定数を「現状のままとすべき」か「削減すべきか」については、まさに特別委員会の場で議論を深めることであり、そもそもそのことを調査研究する組織の設置自体に関しては、いかなる反対の理由も存在しないものと考えます。

反対討論

小関 和好議員

この度の発議については、内容以前に一人だけで発議できる権利があるとはいえ、議員間で話題にもなっていない内容であり、このような事例が許されるのならそれぞれが相談もなく発議するという状況を生みかねません。そうなれば議会運営に混乱をきたします。

今回の件に関しては、議員間の議論の上での発議が望ましいと考えます。

主な陳情

● 山形県立小国高等学校への支援拡充について

陳情者

県立小国高等学校を支援する会
会長 安部 昌晴

● 令和7年度

建設振興策に関する要望書

一般社団法人 山形建設業協会
会長 太田 政往

陳情者
一般社団法人 西置賜建設業協会
会長 那須 正

● 安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者

山形県医療労働組合連合会
執行委員長 鶴巻 学

● 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情

陳情者
一般社団法人
中国における臓器移植を考える会
代表 丸山 治章

他4件

令和7年11月7日

第8回 臨時会

主な補正予算

- クマ捕獲おり借上料
.....158万4千円
 - 鳥獣被害対策実施隊出勤報酬等
.....37万6千円
 - 畑地化促進進事業費
.....262万4千円
 - 梅花皮荘客室改修工事
.....5000万円
- 専決処分**
- 道路破損で生じた物損事故に
対する賠償
.....3万5千068円
- 町道湯沢長者原線天狗橋橋梁補修
工事請負契約の一部変更について
- 変更前 6338万5300円
変更後 6600万4400円



▶梅花皮荘客室
イメージ図

令和7年12月19日

第10回 臨時会

主な補正予算

- 給与等の引き上げ
人事院勧告を受け一般職の月例
給及び勤勉手当等、特別職の期末
手当

年頭のごあいさつ



小国町議会議員
安部 春美

明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希
望に満ちた新春をお迎えのことと心
よりお慶び申し上げます。

本年は午（うま）年となります。
午は古くから「勢いよく前へ進む姿」
を象徴するとされ、新たな成長や発
展への期待を感じさせてくれます。
議会といたしましては、町民の皆
様の声に誠実に向き合い、活力ある
まちづくりの実現に向けて鋭意努め
てまいります。

本年が町民の皆様にとりまして、
健やかで幸多き年となることを心よ
りご祈念申し上げ、新年のあいさつ
といたします。

定例会一般質問とは？



議員が地方公共団体の事務について、執行機関に対し、事実または所信を質すこと。

一般質問は議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論争であり、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要である。議員には他の発言と違って、執行機関に対する事前の通告制が採用される。

どなたでも傍聴できます。是非お越しください！

町政を質す 一般質問5名登壇

渡邊重信議員

7ページ

- 1 町内事業者の事業承継対策について

間宮尚江議員

8ページ

- 1 「21世紀の築城」から更なる時代への転換と入浴施設の今後は
- 2 町民プールの老朽化対策と維持管理の在り方は

小関和好議員

9ページ

- 1 山菜・きのこの流通の仕組みづくりは怎么样了か
- 2 買い物困難者のために次の策は

遠藤和彦議員

10ページ

- 1 緊急時の対応は
- 2 町内のクマの出没、対策はどうだったか

小林嘉議員

11ページ

- 1 「協働のまちづくり」について
- 2 「自治基本条例」制定について

本会議及び一般質問の内容は、インターネットで録画をご覧ください。

http://www.oguni-town.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_days_list&gikai_id=125





1 町内業者の後継者不足をどう考える



わた なべ しげ のぶ
渡 邊 重 信 議員

商工業の事業承継が進まず空洞化が進んでいる

渡邊 町民が生活を営む中で、食料品や生活必需品、自動車や住宅修理等の農商工業の確保と環境整備は重要なまちづくりの一環ではないか。農商工業政策、事業承継の政策が手薄ではないか。

商工会・山形県事業承継引継ぎセンターと連携を図る

町長 移住者も含め担い手育成をはじめ「企業化資金援助・創農チャレンジ応援事業給付金」を創設し継承者となる可能性の高い個人・事業者を資金面で応援している。小国町マルチワーク事業での雇用をきっかけに事業承継にもつなげたいと思っている。

渡邊 ※小規模振興基本法の条例化は。

※小規模企業振興基本法（地方公共団体の責務）

第七条 地方公共団体は、基本原則にのっとり、小規模企業の振興に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 地方公共団体は、小規模企業が地域経済の活性化並びに地域住民の生活の向上及び交流の促進に資する事業活動を通じ自立的で個性豊かな地域社会の形成に貢献していることについて、地域住民の理解を深めるよう努めなければならない。

産業振興課長 国も第三期小規模企業振興基本計画を打ち出し、事業承継を盛り込んでいる。今後検討が必要。

第六次総合計画基本計画に盛り込むべき

渡邊 第五次基本計画の商工業振興は、中心商店街の賑わいづくりを進

め、「町の駅」等の交流空間の活性化に取り組みとし明記されていない。そのアスモ、いきいきまちづくり公社の事業承継も心配される。町長の覚悟と本気は。

やれない理由、できない理由を出し、潰していく

町長 努力を重ね、真剣に取り組んでいる。まだ公表できる環境ではない。第六次基本計画に計画的に盛り込んでいく。

事業承継を進める上で、キャリア教育も必要ではないか

渡邊 中学校で行われた小国万博での物販について、計画からプレゼンを行い、資金調達、仕入、販売まで行った。仕事の楽しさを伝えることも必要ではないか。

教育長 現学習指導要領にキャリア教育の明記は示されていないが、「白い森学習」の中で考えていきたい。



小国中学校
小国万博
2025



物販について学習した

1 「21世紀の築城」と 入浴施設の今後は



2 町民プールの方向性は

ま みや ひさ え
間宮尚江議員



1 センター入浴施設は

問宮 次期総合センターの建設は順調だが、完成後の入浴施設はどうなるのか。高齢者の憩いの場として、また災害時の避難場所としても必要不可欠であり、明確な方向性を示すべきではないか。

跡地利用の中で検討

町長 源泉温度や湯量の問題から、新施設への整備は行わない。現センター解体後の跡地を含めた周辺一帯の土地利用計画の中で、整備場所や財源などの課題を整理し、検討していく。

具体的スケジュールは

問宮 検討の先にある結論を町民は待っている。令和8年度の予算編成方針に示すだけでなく完成に向けた具体的な

的なスケジュールはあるのか。

い 早期に方向性を示したい

政策企画監 現段階で「いつまでに」とは名前でできない。どのような形で整備するか一定の整理ができた段階でスケジュールを調整したい。

2 プール存続の方向性は

問宮 今夏は水不足で休止したが、昭和44年開設で老朽化は進んでいる。更衣室等がある現センター解体後、プールの運営はどうなるのか。

土地利用計画で整理する

町長 建設から56年が経過し、維持管理が課題となつている。現センター跡地等の土地利用

用計画を取りまとめる中で、利用実態や環境変化を踏まえ、今後のあり方を整理したい。

「命を守る水泳」の場を

問宮 過去の水難事故の教訓からも、着衣泳など「命を守る水泳」の実技は重要だ。座学だけでなく、川や海の

危険性を肌で学ぶ環境を維持すべきでないか。

新プール完成後に復活を

教育長 実技に勝るものはないが、現状では他施設への移動等は困難である。将来的にも新しいプールが完成した際には、水泳授業を復活させたいと考えている。



親しまれる二宮の湯



1 山菜の流通システムの進捗は 2 アスモミニスーパーの今後は



こ せき かず よし
小 関 和 好 議 員

1 流通の仕組みは

小関 集荷業者の減少や採る方の高齢化等で当町の山菜ブランドは、消滅の危機となつてきている。昨年、町長の答弁では「採る人・集める人・売る人のシステムづくりが必要」と示された。その後の進捗状況は。

進めている

町長 本町のわらびの生産量は減少しているものの今も日本一である。白い森ブランドの代表といえるわらびの生産量・販売量を安定的に維持するには、流通のシステムづくりが必要だとの基本的な考えを申し上げた。本年は、(株)小国町地域総合商社に※「特産品等販路開拓業務」を委託した。また、町内産山菜の販売システムの構築に向けて山菜取扱業者や町担当課等による検討会を構成し課題等を把握していく。

山菜は貴重な収入

小関 年金生活者にとつては、貴重な収入源である。来春に間に合うように努力していただきたい。

※「特産品等販路開拓業務」とは

本町の地域資源を活用し、関係する事業者と共同で本町特産品の改良、新商品の開発、町内産山菜の販路開拓等により販売力強化を図り、ブランド力の向上、ふるさと納税の拡大を資する業務。



生産量日本一

は 2 ミニスーパーの今後は

小関 ミニスーパーの店は、町民に希望を与えたが6ヶ月の期限付きと聞いている。買い物のお空を生まないためにも今後の対応を聞く。

期間延長を予定している

町長 6ヶ月という期間



継続が期待されるアスモ内ミニスーパー

は、破産管財人と「いきいき公社」の賃貸借契約の締結にあたり、管財人から長期間の期間設定は出来ない」と指導を受けたものである。破産処理が長引く場合は、期間延長も可能ということであった。会社としては期間延長の方向の考えもあり6ヶ月で閉店するということでは無いので安心していただきたい。

1 緊急時の対応は 2 町内のクマ出没対策はどうだった



えん どう かず ひこ
遠藤和彦議員



1 受験できず

遠藤 昨年3月6日午後10時30分ごろ、沼沢の国道で大型トラックと同一士の事故があり、現場付近は、11時間にわたり全面通行止めとなった。

翌日の7日は山形県の公立高校入試の日であり、受験出来ないという、あつてはならない出来事が起きてしまった。この事態を何とかできなかったか。

町長 長時間に渡って車両の通行が出来なくなる事態については、本町にとって大きな課題である。

米坂線も運休のまま

遠藤 JR米坂線も不通のままで、国道も迂回路がない状態を町長はどう考えるか。

町長 住民の生命を守り安定した町内の産業を維持し、さらには教育の円滑に資する、国直轄のWネットワークの構築が必用だ。運休しているJR米坂線の早期復旧も同様に運動を展開しよう。

町長 住民の生命を守り安定した町内の産業を維持し、さらには教育の円滑に資する、国直轄のWネットワークの構築が必用だ。運休しているJR米坂線の早期復旧も同様に運動を展開しよう。

2 町内のクマ出没対策は

遠藤 町の鳥獣被害対策実施隊との連携と成果はどうだったか。

町長 クマ出没マップで広く周知した。緊急時は小国警察署と連携し周回警戒を行っている。捕獲については、鳥獣保護員の意見を踏まえ、有害捕獲が必要と判断した場合、それを許可している。

有害駆除実施隊は農林振興課長を隊長に、副隊長を猟友会会長にお願いしている。会員

を隊員に委嘱し鳥獣による被害対策にあたる。

実施隊の出動報酬は

遠藤 出動報酬が最低賃金にも達しておらず低すぎないか。

農林振興課長 出動報酬は給与ではないので最低賃金が適用されるものではないが、最低賃金の金額を下まわっていることはご指摘の通りだ。国の通知や他自治体の事例を参考に引き続き検討する。



暗視カメラで熊の出没を確認(東原地区)



1 協働のまちづくりについて 2 「まちづくり基本条例」の 制定について



こばやし よしみ
小林 嘉 議員

を 1 協働のまちづくり

小林 「町民との協働」を町づくり推進の手段に掲げよ。

様々な協働の取り組みが立ち上がっている

町長 協働についての概念は、町民、町外の方、行政、NPO、企業などが、対等な立場で共通の目標達成のために協力して働くこと。町外に住んでいる方を「協働人口」と呼び、すでに「協働のまちづくり」の考え方で様々な取り組みを実施。パートナーシップモデル事業の「北東部コミュニティ睦」の結成や、小坂町・本町地区の災害時活用「世帯票」の作成、「小国・地域みらい塾」「マルチワーク事業協働組合」「移住者コミュニティつむぐ」など活動の実践がある。

小林 地域の取り組みは「東部地区振興協議会」の活動をモデルとしてほしい。

2 まちづくり条例制定を

小林 第6次小国町総合計画の策定に際し、合併せずに「自立するまちづくり」を標榜する町として条例を制定のうえ「町民との情報共有」を一段と進め、町民と一体となった町づくりに取り組むべきでは。

条例制定以外の手段で「町民との情報共有」は実践している

町長 まちづくり条例は、まちづくり構想の実現に向けて、町民・議会・行政などが、取り組むための「手段」と言えるものである。

本町は、条例の基本的な内容の情報公開や説明責任、広域連携、

計画や各種審議会への町民参加など、まちづくり条例でいう「手段」以外にも多くの方法で、「町民参加のまちづくり」の実践が可能と考えている。

基本原則

参画

市民等が、市の政策に関する計画、実施、評価、見直しのそれぞれの過程に主体的に参加し、まちづくりを推進します。

協働

市民等、議会、行政は相互理解を深め、信頼関係のもとに、それぞれの役割や特性に応じて、互いに尊重、また補完しあいながら、対等な立場で、それぞれの持つ力を発揮して、まちづくりを推進します。

情報共有

市民等、議会、行政がともに協力してまちづくりを行うために、必要な情報の共有に努め、公正で透明性の高い市政運営を図ります。

目指す「まち」の姿



総務省資料抜粋

議会運営委員会視察報告

令和7年9月24日

福島県大玉村

「人口が減らないまちづくりの 先進事例に学ぶ」

- 定住人口増加対策については、本町と大差はないものの、団地を造成する個人や事業者に対して補助金を交付している。地域の利点に着目し強化することが魅力増加に繋がる。今後の投資対象としての価値を再認識する機会となった。
- 「在宅子育て支援金」や「村外子育て応援奨励金」等の独自の施策を展開し、切れ目のない支援策が講じられている点は注目される。



総務厚生常任委員会視察報告

令和7年10月6日・7日

福島県会津美里町

「デジタル戦略の推進体制」 「AIオンデマンド交通の導入」

- デジタル人材育成を進め、職員の意識改革に注力している。住民サービス向上を目指し、職員の意識や姿勢を前向きに変えていくことの重要性を学んだ。
- 町内全域を運行エリアとしAIが最適なルートを設定する仕組みで、利用者の利便性重視を交通行政に反映させるシステムは重要と認識する。

福島県西会津町

「協働のまちづくりの推進」 「地域と協働で取り組む 集落支援事業」他



◀ 移住者による、
革加工品の販
売所視察

- まちづくり基本条例制定のもと町民と町の距離が近く、町民参画が推進されていた。町や議会が町民との密接な関係を築く重要性を感じる。
- 集落が無くなることを前提とした「集落終い・村納め」という活動では、地域の終わり方を主体的に考え「将来へ構える姿」が見られ、本町でもこの視点による取り組みが将来的には必要だと考える。

美里町から説明▶
を受ける



文教産建常任委員会視察報告

令和7年10月1日・2日 新潟県上越市

「中山間地における 水道運営について」

- 業務の効率化を図るためにDXの推進に注力。水道管の更新は実績耐用年数に基づき計画的に進め安定的な供給体制の維持に努めていた。技術者の計画的な育成・確保が極めて重要と認識する。



▲それぞれ説明を受けた

石川県かほく市

「部活動の地域展開について」

- 受益者負担の原則のもと会費を徴収し、地域の教育力や活力を高めることを狙いとしていた。地域展開という理念を踏まえそのビジョンと実施方針を明確に示す必要性を感じた。

白鷹町 置賜地方町村議会議長会議員交流会

■令和7年10月3日

「しらたかマルチワーク事業協同の取り組みについて」

白鷹町企画政策課係長 金子 秀人氏

しらたかマルチワーク事業協同組合 事務局長 菅原 大夢氏

関川村 関川村との議員交流会

■令和7年10月15日

- 1 視察：鷹ノ巣道路（仮称）1号トンネル
- 2 講演：「風力発電事業について」

東急不動産株式会社 プロジェクトリーダー

木村 義彦氏



小国町 西置賜地区市町議会連絡協議会 定例総会 ■令和7年11月17日

「白い森ブランド推進の現状と今後について」

白い森ブランド戦略専門員 松本 克典氏



10月29日 小国町猟友会

テーマ

地域を守る最前線から
～猟友会と語る町の課題～

訓練のための予算は、当初予算で計上してほしい。若手の人材育成に向けた訓練をしたい。

今年は、クマは37頭捕獲し、ワナを50個ほど設置している。

アーバンベア（都市部に出現する野生の熊）の増加が懸念される。

後継者の育成について。地元出身者でハンターに興味を持ってくれる若者が少ない。町民への活動内容周知が必要。

狩猟法により、ライフルが使用できる場所が限られている。昨今のクマによる人的被害を鑑みて、法令を変える必要があるのではないか。



団体出席者(右から)

伊藤昌治さん
羽田義明さん
遠藤春男さん

クマ以外による農作物被害についても猟友会が調査をしている。



訓練が必要である。9月定例会で補正予算が通ったが、10月22日付で交付決定となった。対応を早くしてほしい。

農業機械を町で買って農家にレンタルする制度や、引退した農家の農業機械を町で修理して後継者に引き継ぐといった、農業機械バンクのような事業があるといい。

農業に憧れを持った人が本格的に農業を始めると、理想と現実のギャップに苦しんでしまう。リアルな農業を経験してもらう必要がある。

事業を引き継げばリスクは少ないが、新規就農者として一から農業を始めるのは難しい（農業機械の確保など）。

米を保管するための低温倉庫の増設は、建設費に加え維持費の確保といった財政的な懸念が生じる。町で低温倉庫を建設してほしい。



11月12日 クアーズテック労働組合

テーマ

住みやすいまちとは何か
～労働者の視点から～

山菜が有名なのにフルコースを食べられる場所がない。せっかくワラビ生産日本一なのにもったいない。発信と提供が合致していない。

冬になると会社付近の歩道が歩けなくなる。車道を歩かなくてはいけない。道幅も狭く、電信柱もあるので歩道除雪ができない状況。

会社付近の踏切は雪の壁で安全確認しにくいので現状を改善してほしい。

飲食店の情報サイトに掲載している店が少ない。個店が情報を発信してほしい。



団体出席者(右から)

齋藤美穂さん
岩井宅磨さん
伊藤圭汰さん
大山慎吾さん

町営の単身者向けの住宅を整備してほしい。

町外から働きに来る人は、買い物や食べる場所、遊ぶ場所を求めている。



11月26日 認定農業者協議会

テーマ

今後の農業政策について考える
～持続可能な地域農業をめざして～

団体出席者(右から)

佐藤義昭さん
大谷健人さん
遠藤寛壽さん
高橋 聡さん



団塊世代の農家の高齢化が進んでいる中、その子世代の農業経験者が少ない。今後数年の農家確保問題の対策を今のタイミングで始めなければならない。

北部地区は特に農家が少なく、作物を育てるにも土地の条件が悪い。土地整備の財政的支援をしてほしい。

がんばっています!!



プロフィール

茶道「江戸千家山形不白会 小国教室」代表
氏名 舟山 恵美子
住所 越中里
ライフワーク
◎小国町更生保護女性会活動
◎小中学校で絵本の読み聞かせ
表紙
氏名 舟山 登志子

Q 「江戸千家」の由来を教えてください。

A 京都で茶道師匠の如心齋先生から指導を受けていた初代の川上不白先生が教えることを許され、江戸で広めたことから

Q 「江戸千家」となりました。茶道に親しまれてから何年になりますか。

A 22歳の頃からですから50年ほどになります。始めた当時は保育園の保母として勤務しておりました。少し静かな時間をもちたいと思いました。



▲茶道を楽しむみなさま

Q お稽古について教えてください。

A センターの茶室で月3回、土曜日の午後一時半から5名で行っています。いつでも会員を募集しています。興味のある方は

お声をかけてください。

Q 茶道の楽しさは。

A すべてが楽しいです。お花や掛け軸、お道具など、奥が深く常に勉強になります。お湯が沸く音を聞きながらの一服は心が落ち着きます。

Q 現在の小国町について一言お願いします。

A とても寂しくなってきました。子どもが少なくなってきました。行政の方には子育てに力を入れていただきたい。

ありがとうございました。
(文責 石山)



▶結構なお点前でくわいます



▶所作を見守る

次は3月定例会です。傍聴においでください。

編集後記

令和8年を穏やかに迎えることと思います。

干支は丙午(ひのえうま)です。「成功」「発展」「勝負運」を象徴し、力強く前進する活気ある年とされ、60年に一度巡ってくる縁起の良い組み合わせとされています。

新しい挑戦や事業の発展を願うのにふさわしい一年となりそうです。議会も町の発展に寄与できるよう頑張つてまいります。

石山(記)

発行責任者

議長 長 安部 春美
委員 長 伊藤 弘行
副委員長 柴田 伸也
委員 石山久美子
間宮 尚江
小関 和好
遠藤 和彦

